

2019年度 関東支部運営委員会（第2回）議事録

日 時	2019年9月12日（木）14:00～17:00				会 場			
支 部 長	安 田 進	○	副 支 部 長	中 込 淳	×	副 支 部 長	坂 上 敏 彦	×
副 支 部 長	小 峯 秀 雄	○	副 支 部 長 発表会Gリーダー	長 尾 俊 昌	○	監 事	北 本 幸 義	×
監 事	高 橋 章 浩	×	幹 事 長	杉 山 太 宏	○	副 幹 事 長	福 原 誠	○
副 幹 事 長	海 野 寿 康	○	山 梨 県 G リーダー幹事	後 藤 聰	×	茨 城 県 G リーダー幹事	松 島 亘 志	×
栃 木 県 G リーダー幹事	西 村 友 良	×	群 馬 県 G リーダー幹事	若 井 明 彦	×	神 奈 川 県 G リーダー幹事	早 野 公 敏	×
千 葉 県 G リーダー幹事	若 月 洋 朗	○	埼 玉 県 G リーダー幹事	斎 藤 健 志	×	研 究 委 員 会 G リーダー幹事	伊 藤 和 也	○
会 員 S G リーダー幹事	三 上 武 子	○	会 員 S G リーダー幹事	山 中 光 一	○	副 支 部 長 代理	三 屋 竜 一	×
全 国 大 会	内 村 太 郎	○	オ ブ ザ バ ー	樋 口 俊 一	○	事 務 局	青 木 美 智 子	○
栃 木 県 G 代 理	清 木 隆 文	○	茨 城 県 G 代 理	榎 本 忠 夫	○			

○：出席， ×：欠席

委員会に先立ち安田支部長が挨拶を行った。

1. 前回議事録の確認

- ・2019年度第1回運営委員会議事録（7/5）

【別紙- 1】

→内容を確認し、承認された。

なお、記載内容のうち、「3(4) 2018年会費未納者リストのご送付」において産休中などで職場アドレス宛のメールが確認できなく、未納となったケースへの対処について本社支部連絡協議会への提案については、時間がなくできなかつたため、安田支部長より本部事務局へ直接お話しをいただいた。

2. 最近のスケジュール

- ・2019年度第1回商議員会：2019年10月4日（金）

【別紙- 2】

特別講演会「高速道路における土工技術の変遷」講師：横田聖哉氏（東日本高速道路株式会社）

- ・第16回地盤工学会関東支部発表会 GeoKanto2019：2019年10月31日（木）

→スケジュールを確認した。

3. 本部・他支部に関する連絡・報告・検討依頼事項

- (1) 評議員から商議員への名称変更に伴う商議員数見直しについてと電子投票
票システムについて

【別紙- 3】

→関東支部は、産官学のバランスを考えた商議員の構成とするために官のメンバーも含めるものとし、所属先から非会員の方が役員になる場合には『参与』として参加いただき、議決権がないものの会議への出席・発言についてはこれまでどおりとすることを第1回商議員会で提案する。なお、上記の運用について商議員会の前に杉山幹事長から本部総務

部会に事前説明を行う。

→電子投票システムは、企画総務 G メンバーによる事前動作確認では容易であり有効との意見があったが導入には本部で計画している会員 DB システムの改定と調整が必要であり、その状況を確認して次回の運営委員会で再度協議する。

- (2) 委嘱状の割り印の廃止と会長印等の扱いについて

【別紙一 4】

→内容を報告した。

- (3) 第 22 回「事業企画賞」候補案および審査員選出のお願い (10/31〆切)

【別紙一 5】

→GeoKanto では、2017 年からスポンサー募集を開始し、2018 年よりさらにスポンサー企業の技術紹介の発表を設けて、法人会員企業へ学会参加の利点を示した。よって今年度は、GeoKanto2018 の技術紹介を事業企画賞に推薦する。なお、2018 年度から開始した若手セミナーについて 2019 年度にプロモーション動画を作成しており、次年度の推薦候補とする。

- (4) 令和元年度上期中間決算書類提出のお願い

【別紙一 24】

→本部より 9 月末時点における上期中間決算資料の提出依頼があり、事務局で対応する旨を報告した。

- (5) 計報

名誉会員 矢部 正宏 (やべ まさひろ) 様 (81 歳)

→内容を報告した。

4. 支部からの周知・連絡・検討事項

- (1) 2019 年度支部役員の変更・交代について

[副支部長] 若林 伸幸氏 → 中込 淳氏 (国土交通省関東地方整備局企画部)

[商議員] 白井 和洋氏 → 坂巻 広治 氏 (東日本高速道路(株)関東支社)

石橋 洋信氏 → 森 信哉 氏 (国土交通省関東地方整備局港湾空港部)

→内容を報告した。

- (2) 2019 年度第 2 回商議員会の日程及び特別講演内容

検討事項：2 月開催（決算見込で提示）と 4 月電子会議の開催、もしくは 4 月の電子会議のみの開催

→予算の年度決算方法の変更に伴い、2 月開催予定の第 2 回商議員会で年度末の見込みで予算審議を行っても無効となる。よって 2 月は開催せずに年度明けの会計監査後に電子会議での審議とすることを第 1 回商議員会で提案する。

- (3) 2019 年地盤工学会関東支部賞の募集 (11/25〆切)

【別紙一 6】

→技術賞の候補として『豊洲市場の土壤汚染対策』などが候補と考えられる。貢献賞とあわせて広くアナウンスを行い、応募を促す。

- (4) 会員データベースのアンケートの更新について 【別紙－7】
→学識者の会員データベースについて周知されておらずにアンケートの回答をされていない方も見られることから再度、案内を行う。また、既に更新済の方にも内容の修正についての連絡を行う。なお、退官された方で勤務先を『無職』とされている方も見られるために以前の所属先がわかるように入力方法に『元○○大学』『○○大学名誉教授』などの記載例を示して修正していただく。
- 学識者のデータベース情報のリストは関東地整からの要望が契機となり作成した。他の自治体などにも有効な情報であると考えられ、県Gを通じて紹介し、さらなる活用を促す。なお、全国大会後に安田支部長、杉山幹事長が関東地整へ挨拶に伺った際にリストを他の団体にも案内を行う旨は説明済である。
-
- (5) 次年度（2020年）開催のGeoKanto2020について
各県グループに開催地担当として対応いただけるか伺う
→欠席している県Gも見られることからメールにて来年度の開催の意思を確認する。2017年に開催した栃木県Gの事例等から会場の準備などを含めると2年程度の期間が必要と考えられることから再来年度の開催についての議論も今年度から始める必要がある。
-
- (6) JAXA のりゅうぐうの探査関連の話題提供について 【別紙－8】
→上記の題材で講師として神戸大学の荒川政彦先生を紹介いただいており、来年度の総会の日程で可能であるとのことで講演を依頼する。
-
- (7) 後援依頼：土工構造物の防災を考えるセミナー 【別紙－9】
→審議の上、承認された。
-
- (8) 軟弱地盤対策関連の講演会について 【別紙－10】
→予定している4名の講師のうち、2名が名古屋からの参加となる。現在想定している参加費1,000円とすると多数の集客数がないとマイナス収支となることも考えられる。よって主旨や集客、採算性について計画を再検討し、改めて次年度の事業計画に組み込む予定とする。
-
- (9) 地震災害からの復興報告に関する国際ミニシンポジウムについて 【別紙－11】
→海外講師の日程が未定のため、保留。
-
- (10) 「利根川」巡検+勉強会 or 講演会 シリーズ企画（案）について 【別紙－12】
→今回の県G出席者からは企画として前向きな意見をいただき、企画運営を担当する群馬の大若井先生と会員サービスGで進め方も含めて来年度から開催する方向で協議する。
-
- (11) 第54回地盤工学研究発表会について 【別紙－13】
→実施内容や参加者数などの開催結果が報告された。
-
- (12) 令和元年「アワード工法」技術講習会の後援について 【別紙－23】
→審議の上、承認された。
-
- (13) 2019年度予算執行状況について（本部より会計ソフトの提供が8月末のため会計申請書類を杉山幹事長に確認済）
→新しい会計ソフトが導入されたばかりであり、本格的に運用されてからの報告となる。

5. メール審議決定事項

- (1) (主催) 10/12 歴史遺産委員会より、シンポジウム後援依頼について
- (2) (主催) 9/12 群馬県グループ「浅間山火山噴火緊急減災対策現地見学会」
→(1)~(2)についてメール審議にて承認されていることを報告した.

6. 開催結果、進捗状況の報告（前回運営委員会以降、開催分を記載）

- (1) 7/2 共催行事「中山間地域における広域的な豪雨による土砂災害メカニズムの究明と地域防災力の向上に向けた取り組みに関する研究討論会」参加者：約 80 名 【開催済】
- (2) 7/12 栃木県グループ「栃木県総合スポーツゾーン建設現場見学会」参加者：18 名 【開催済】
- (3) 7/25 会員サービスグループ「2019 年度ジオセミナー～人工誘発地震 Induced earthquakes ～」参加者：56 名 【開催済】
- (4) 5/18 会員 SG 70 周年記念事業「ジオ散歩～城ヶ島での地層巡査の旅～」参加者：18 名 【開催済】
- (5) 8/3 後援行事「後援行事：夏休み親子現場見学会（土木学会 地下空間研究委員会）」参加者：30 名 【開催済】
- (6) 8/6 群馬県グループ「叶山石灰石採掘現場見学会」参加者：15 名 【開催済】
- (7) 10/12 歴史遺産の地盤工学研究に関する研究委員会「歴史遺産の地盤工学研究に関する研究シンポジウム」
- (8) 11/9 第 14 回ソイルストラクチャーコンテスト
→(1)~(8)について開催結果、進捗状況を報告した.

7. グループ別の実施計画・進捗状況・その他報告事項

- | | | |
|---|------------|---------|
| (1) | 会員サービスグループ | 【別紙-14】 |
| →シニアセミナーについて集客性を高めるために今後計画する第 2 回以降で Web 配信も検討している。 | | |
| →フォトコンテストについて 9 月末に G 内で最終確認した後に募集開始する予定であり、大学生や高校生なども応募してもらえるようにアピール方法についても検討している。 | | |
| 表彰された作品についてはインスタ、支部 HP などの公表など広報で活用していく。
(土木学会では同様に募集した作品についてポスターやカレンダーに活用) | | |
| (2) | 茨城県グループ | 【別紙-】 |
| 上期は特になし、下期は研究所巡りを企画 | | |
| (3) | 栃木県グループ | 【別紙-15】 |
| →高校生向け地盤工学副読本の作成は進捗がなく、県内の土木遺産の分析を重点的に活動している。 | | |
| (4) | 群馬県グループ | 【別紙-16】 |
| (5) | 山梨県グループ | 【別紙-】 |
| (6) | 千葉県グループ | 【別紙-17】 |
| →亀山ダム現場見学会の開催について審議の上、承認された。集客性を高めるために参加者へのダムカードの配布できるとよいのではないか、との意見があった。 | | |

- (7) 埼玉県グループ 【別紙-18】
→例年実施している地質巡検は開催せず、オープンフォーラムを 11 月に開催予定である。
- (8) 神奈川県グループ 【別紙-19】
- (9) 研究委員会グループ 【別紙-20】
→GeoKanto2019 で委員会報告を開催予定である。
- (10) 支部発表会グループ 【別紙-21】
→スponサー企業の申込みは 12 社、そのうち技術紹介 3 社と前回と比べて低調である（一部社内手続き中の連絡あり）。昨年度実績のある企業・団体へ再度、参加を依頼するとともにその他についてもスポット的に宣伝を行い、申込み数の増加を図る。
→参加〆切を 9/25 まで延長
- (11) 企画総務グループ 【別紙-22】
→本会に先立って議題の項目や内容についての確認を行った。

8. その他

- (1) 退会届
・なし
- (2) 新入会
・鹿島建設株式会社 東京土木支店（4 級）
- (3) 次回運営委員会開催日程
2019 年 12 月 13 日（金）
→(1), (2)について報告した。
(3)について時間の調整を行い、以下の通り決定した。
2019 年 12 月 13 日（金）9：30～12：00